

平成19年6月26日

全体会を迎えて

夢は実現させるもの

仲間達の眼は真剣。



はぐるまの会

No.30
2007年6月25日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場1-18-17

Tel 044-946-1308

全体会に向けて準備を進める仲間や職員関係者たちの精進する姿は「やらなければならない」使命感のようなエネルギーを感じさせます。

使命とは・・・変わってく情勢に流されてはいけない「進むみちをしっかりと見つけていかななくてはならない」と言う切迫感のようなものなのでしょうか。または、「変革」のための新たなエネルギーなのでしょうか。その両方の気持ちに動かされているように思います。

仲間自治会総会に向けて

ホームの24年をふり返って

全体会に向けて仲間達リーダー層またその姿や雰囲気を知っている仲間達は大きな目標に向かうことよって、互いの競争力や連帯力を身に付けながら準備を進めてきました。

「今までホームで表彰されていない仲間たちが十七人人もいる。この仲間たちを表彰してあげたい！」という事務局の思いを発端に、この1ヶ月、ホームの歴史、仲間の歴史の勉強を重ねてきました。

一口にホームといっても、はぐるまの成り立ちは昭和五十八年に川崎市で初めての男女共用ホームから始まったわけで、その気の遠くなるような年月を振り返るには、その当時を知る職員はまったくいません。

ホームの歴史や仲間の歴史を唯一知っている方として、評議員の岩田洋子さんしかいませんでした。お忙しい中、調整をつけ

てもらいながら、1回平均3時間の勉強会（計4回）が始まったのです。

私たちもそうですが、仲間によつては二十年以上前のことですから、思い出すまでに何分もかかり、思い出しても、部分的で細かいところまで出ません。しかし、岩田さんとともに歩んできた仲間たちは、岩田さんとの学習のなかで当時の様子や、思い出すきっかけを与えてもらおうと、流れ出る滝のように当時の思いがどんどんよみがえってくるのが分かりました。

自分の過去と比較して現在を問うと、「あの時は、いやいや入ったけど、今はリーダーとして仲間に教えてあげられるようになって」「ホームシツクで何度も家に電話していたが、今はまったくしない。ホームに入つてよかった」「ホームに入るときは好き嫌いがあったが、今は残さず何でも食べられるようになった」と自分の変化を認識していく様子が良く分かりました。

具体的な質問に対して、仲間たちは難しくとも、自分なりに考えて答えをだして、毎回の勉強に臨みました。その意見を出し合いながら確認していくことで仲間自身の認識が変わっていきました。

今回のホームのまとめは、Ⅲ期の仲間たちの個別評価がされていますが、Ⅲ期ができるようになっていいる背景にはⅠ、Ⅱ期の先輩仲間の力や存在によるものが大きいということが導き出されています。

これは、仲間たちが自分たちで考えて発言した言葉そのものであり、仲間たちの認識としてまとめた記録そのものです。時間が短かったということもありますが、まとめを書き上げるために、事務局代表は土、日も返上して頑張り賞のまとめを書き上げました。考えて、思い出しながら、1文字、1文字書き上げた丁寧な字は、何時間もかけて集中しながら書き上げたものです。

この1ヶ月、岩田さんと仲間事務局の活気ある勉強会と一緒に携われて楽しかった。勉強を通して、仲間は本当に「勉強が好きなんだ、したいんだ」ということが仲間一人一人の集中力から強く感じました。それが私の今回の新しい発見でした。(倉科記)

初めての

出会い

看護師 江口成子

今年の4月から看護師としてはぐるまにお世話になっています江口です。

今までは大 学病院の看護師や自宅で生活している高齢者のケアマネジャーをしていました。高齢者の家族としての知的障害者と接したことはありませんが、はぐるまの様な場所で働くのは今回が初めてです。

はぐるまにきて初めて感じたのは仲間がすごくがんばっていることでした。毎日の共同作業や共同生活を通してできることを増やしていく姿や年齢に伴う体力の衰えも、そのままにしているのではなく鍛えること

で少しでもできることを維持していこうとする姿にはこちらが励まされます。

今は各作業所を月一でしか回れないので四十二人の顔と名前を一致させるので一生懸命ですが早く仲間の個性や現在の身体状況を把握して健康面から支援できたらと考えています。

不慣れな点も多いと思いますがピュアな目で(四十歳を過ぎてピュアというのも恥ずかしいのですが)仲間をみていければと張り切っていますのでよろしくお願い致します。



「仲間ハイキングDVD」(頒価二千円)配布開始されました。VHSは六月二十一日よりになります。

DVDを観た方々より感想が寄せられています。今後ともご感想文お寄せ下さい。

感想……

富士山せいそうのDVDをいっぱいみてうれしかった。僕は第二の橘さんの声がきれいでした。十回みました。こんどはまたみます。よろしくおねがいます。

(下築 博)

みどりホームに届いたDVDを早速見始めたHさん。ゲーム機器やDVDの操作は大変詳しく仲間達の清掃活動や旅館での姿をリモコンを使いながら興味深げに見終わる感想を話し始める。S君のゴミを拾っているときの目付きは真剣そのもので良い顔をしていた。I君が旅館でご飯を食べている顔は普段と違う等々。

(みどりホーム世話人さんより)

富士山清掃のDVDを拜見しました。

はぐるま仲間たちの仕事ぶりを観て素晴らしいと思います。目標に向かって真剣に働く仲間達の目が輝いている。この仕事を自分達でやり遂げるんだと言う意気込みが伝わってくるのが見られました。

深く埋もれたものを仲間たちで力を合わせて取り出そうとしている姿を見て嬉しく思い感心しました。家内も何回観てもすばらしいと言っています。これからも色々なものを製作して見せて下さい。

(いずみホーム 斉藤 勝末)

お願い

全体会の報告に、施設の経費を節約し、仲間の工賃を保障しますという一節がありますが、涙ぐましい節約の日々。

そこで、この紙面を活用し、皆様をお願いします。

- ① はぐるまの製品のお買い上げに、ご協力下さい。自主製品・野菜・のり・物品などでも結構です。
- ② そして、これらの商品を地域の皆様に紹介して下さい。
- ③ 消耗品は常に受け付けています。

※なんとも切実なお願いですが、よろしく
お願いいたします。

編集後記

紙面にもホッとするコーナーが欲しいものですね。作業所でも寛ぐひと時があります。坂本さんの詩を掲載しました。

ヨーロッパを襲った熱波(2003年死者多数)今年には日本の可能性が報道されています。気持ちの余裕で乗り切りましょう。

ミーちゃんへ
坂本 真弓
いつも可愛くして
私のそばへ来て
おはようって言てる
私をおまけして
ホームまさくる
いつも作業所で
ねこばかりないで
外でタマと遊んで
おいて。

